

心應手輪扇所謂口不能言有數存焉於其間者歟今
則見其物而不見其人蓋不能繼也

▲ひよこり／＼の俵 これも前の「飛んだり刳ね
たり」と同じく淺草で昔から賣つてゐた玩具であ
る。薊玉位の張子の俵を拵へて黄色く塗りチヨイ
チヨイと細い線を墨で入れて俵の様に見せてあ
る。そして一隅に土の錘おもりが入れてあるので臺の上
へのせて手で加減をすると俵はヒヨコリ／＼と縦
に轉つて行く。

▲水中花 これも昔からよく縁日などで賣られて
ゐた玩具の一種である。櫻の花や都鳥や屋形船や
徳利などの形を切抜いた紙を小楊子位の棒に巻い
てある。小皿か何かの中へ水を張つて置いてそれ
を靜かに水の面に浮べると徐々まに解ほれて行く。
水面に浮べて何になるかと凝視ぎやうししてゐる内がおな
ぐさみである。二十本位入つた袋が二錢位。

▲ごん／＼獨樂 胴も心棒も皆竹で拵へた獨樂で
ある。胴は空虚うつろで其外面には細長い孔が一つ開け

てある。心棒に紐を巻きヘラの小孔にその紐の端
を通して紐を扱とげば獨樂は唸りを生じて盛んに廻
轉する、そして廻つてる間は非常に長い。英國の
Humming top と同一趣向である。これは一個五
錢位である。

▲自轉車の綱渡り 一條の綱を張つて置いて鐵葉
製の自轉車乗をその上にのせ綱の一端を揺り動す
と自轉車乗は前進したり後退したりする、併し自
轉車の中央からは二本の鐵條が垂下しゐて其端に
一個の錘がつけあるので決して脱線の憂ひはな
い。自轉車乗には灯を入れた小さな提灯を持たせ
てあるが一寸思ひ付である。自轉車乗と同一趣向
で飛行機や飛行船なども出來てゐた。

大島の女と子供

田 中 生

大島の旅は樂しございました。霧に包まれた寂
寞ぼくの森に迷ひ入つては涙ぐまるゝ様な露の滴たりに

物が生の本然の姿を顧み、轉び來る怒濤の岸に佇んで久遠の樂音に自然の永遠性を痛感致しました旅から歸つて最早一月許になるのですが今でもエメラルドを溶した様な碧瑠璃の海水と骸炭の様な痛ましい三原火山の荒肌とは僅の一瞬の前に眺めやつたその如く明かに私の眼の底に映つて來るのであります。兎の角あらゆる意味に於て大島の旅は私に取つて非常に利益になるものでありました。

私は今食しい旅靴の中からお望に任せて彼の島の女の子供に就いて概括的な短い通信を差上げたと思つて居ります、併しながら學術的研究に疎い私の頭腦は到底先生の御希望に副ふことの難いのを慨くのであります。

私や大島御神火育ち、胸に煙は絶えやせぬ。

大島の女の情熱は彼の森をなして繁る椿の花の紅と、海風に吹かれて地を匍うた山躑躅の紅に象徴されて居ります、彼の島の構成してゐる三原火

山の噴煙は取も直さず島の女の肉に燃ゆる炎のそれなのであります。

私は餘りに詩的興味に惹き入れられて具體的な報告を忘れてゐました。以下に記す所は島の女子供に對する淺薄な觀察録であります。

大島の女は皆自分の夫を愛して毎日力一杯の勞働をして行きます。男は些とし働かずに毎日のらくらしてゐるのです。東京邊では髮結の亭主を女に養つて貰ふ臍甲斐ない男子の標本としてゐますが大島の男は皆髮結の亭主と同類項なのです。大島では働いて夫を食はして行くのが女一人前なのださうです。丁度内地と男女の位置が顛倒してゐるです。

一體大島には女の數は男の數より適かに多數なのであります、これは古來三十才未満の男子には勞働をさせないといふ習慣があつたので男子の出産を喜ばないばかりか人爲的にその出産を淘汰したのではあるまいかと思ひます。

大島では家事は無論の事其の他耕作、牧畜、材木等の労働はすべて女の任務となつて居ります。故に幼児があると足手纏ひになるので以前は墮胎の風が盛に行はれたものださうですが現今では漸次矯正されて行くさうです。

私が三取火山へ登つた時に連れて行つた案内者は矢張り女でした。歸途に山を下つて來る時、とある森蔭を通ると女は急に立停つて森の中を透し見ながら、

「嗚アよーい」

と叫びました、如何したのだと訊くと自分の母親が其邊の森に伐木に來てゐる筈だから呼んで見たのだと女は應へました。女の年頃から推して見ると其母親はかなりの老人であるべき筈ですのに山林に入つて伐木に従事してゐるとは偉いと思つて感心しました。斯様に大島の女は老も幼も一様に勤勉なのであります。

大島は飲料水に不便な土地柄で天水を貯めて置

いて用ゐる位ですから少女は多く村の共同井へ水汲みに行くことを仕事にしてゐる様です。それから又女は「船積み」といふことをします。これは薪や炭を船に積み込むので海岸から船まで三十間位の棧橋を架けて運び込むのです。水汲みにも船積みにもすべて物を運ぶには頭の上に載せて歩くのです四斗入り位の白米の俵を平氣で頭に載せて巧に身體の調子を取つて歩いて行く所は見る眼も目覺しい位です。

大島では男も女も一般に體格は良好です。殊に女は姿勢優美で鄙には珍らしく皮膚が白く髪は黒いのです。勿論この髪は島の特産たる椿油で遺傳的に養はれて益々つや／＼けくゆたかになつて來たものと思はれます。

髪結び方は大島島田といふこの島の特有の結び方に結つたるのが大部分です、大島島田は内地の島田より鬘が小さくて簡單なものです。前髪はそうめん絞りといふ細かい斑黒のある黒布で包ん

で居ります、斯ういふ唄があります。

つばき油にそうめん絞り、島のアンコの程のよさ。

衣物は短く、帯は締めないで前掛の紐で結んで居ります、そして襷は始終かけ通しにしてゐる様です。衣物には黒無地ものが多く形のあるものは用ゐられません、併し紋付はよく用ゐられてゐます。縞物は稀に着てゐる者がありますが減多に見掛けませんでした。一體に質素な扮装なので赤いものなどは些とも身につけません。

大島の子供は内地の子供と大して相違がありません。

小學校は全島に六校あります、即ち元村、泉津、岡田、差木地、野増、波浮の各村に一校づつあるのです。生徒の總數は八百人許あるさうですが島民はまだ一般に教育的智識に乏しく子供を學校へやると生意氣になるなどと譯の分らぬ事をいふ場合がまだ中々多いさうです。

耶蘇教會は元村の海岸の小高い丘の上に立つてゐますが日曜日毎に子供の集會をやつて讚美歌の合唱などをやつてゐますが生徒はあまり集らないさうです。

大島の産で東京に遊學してゐる私の友のH氏は大島の子供は一般に理想が低く向上心に乏しいと私に話した事がありますが親達の感化を不知不識の間に享受する子供としては爾なることは必然的の勢ひであらうと思ひます。

活動寫真も公園もない大島の子供は自然を相手にして遊ぶより他は仕方がないのです。春の森の林に花椿を拾うたり夏の海に泳いだり秋の山に菌を漁つたり冬の爐邊に談らうたりして大島の子供は成人つて行くのであります。(近く大島に遊びたる旅客の編者の需めに應じて。)